

## 若き音楽家たちの声 ～芸劇のアカデミーで得たもの

実技レッスンとキャリアアップゼミにより、若手音楽家を育てる

「芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド」は、8期目を終えようとしている。

年度の終わりに、ミュージック・アドバイザーの福川伸陽と4名のアカデミー生に話を聞いた。

2021年度「芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド」には25名が在籍し、この春に第6期生7名が卒団を迎える。去る2月8・9・10日の3日間は、「卒団生によるショーケース」とアカデミー生と講師による「室内楽演奏会」が開かれ、それぞれの成果を披露した。プログラム・ノート（楽曲解説）の執筆も、本番の司会進行も、事前に講師や劇場スタッフからの指導を受けてアカデミー生自身が行った。ハイレベルな演奏のみならず、あらゆる面でプレゼンテーション能力に磨きをかけることが、このアカデミーの特徴だ。

「ショーケースでは30分を自由に使い、この3年間で学んだことを自由に発表します。僕はリサイタル形式で行い、自信に繋げることができました。そう語るのは、3月で卒団の6期生・清川大介さん（トランペット）だ。「アカデミーに入った最初のゼミで、『あなたでなければならない理由を考えよ』という課題が出されました。決められた曲を決められた通りに演奏するのでは

なく、人の心に訴え、愛されるプレイヤーとなるには、クリエイティブに発想することが大切だと学びました。このアカデミーでは、自分の専攻楽器以外のプロ奏者の先生からも音楽的な指導をいただけるので、大きな気づきを得られます。オーケストラ奏者になる夢を叶えるため、春からもがんばります！」（清川）

7期生の陶山咲希さん（ファゴット）は、2年前の自分より格段に成長したことを実感している。「アカデミーの初回レッスンで、岡田奏さん（ピアニスト／講師）から『毎回同じようにしか吹けないの?』と言われ、稲妻に打たれたような衝撃を受けました。以来、音楽との向き合い方・考え方が変わり、アンサンブルではその場で生まれる音楽的な掛け合いにも柔軟に反応できるようになりました。今回の演奏会では、先生方とのドヴォルザークの管楽セレナードを演奏で

きて、本番中にまた大きく成長できたと感じています」（陶山）

入団1年目の8期生の小荒井千里さん（サクソフォーン）は、昨年4月にコロナ禍で大学院を修了した。9月の入団当初はガチガチに緊張し「大学を出てから自分は一体何をしていたんだろう」と硬くなっていったという。「でも先生から『自分らしさを出したほうがいい』と言ってもらい、その一言で『楽しもう!』と前向きになれました。サクソフォーンはレパートリーに限られている楽器ですが、今後はさまざまな楽器とのアンサンブルを通して音楽性を広げていきたいですね。アレンジ作品などを増やす活動も視野にいれたいです」（小荒井）

8期生・尾形賢一さん（打楽器）は、音楽大学とは違った学びに刺激を受けている。「現役で活躍している先生方が、実際の現場でリアルに求



左から福川伸陽さん、清川大介さん、陶山咲希さん、小荒井千里さん、尾形賢一さん

められることなども話してください。また、キャリアアップゼミで小学生向けの模擬アウトリーチを体験させてもらい、企画・執筆・司会などマルチに活動できる音楽家がいることも知りました。視野が大きく広がり、僕自身も小学校へのアウトリーチ活動を行うなど、実践を始めたいです」（尾形）

本アカデミーの講師陣は、ホルン奏者の福川

伸陽（ミュージック・アドバイザー）の声がけにより、管・打楽器奏者以外に、弦楽器奏者やピアニストにも参加し、音楽的な指導を充実させている。

「20代のアカデミー生にとって、この時期の一年一年をどう過ごすかは、その後の人生に大きく影響します。入団時のオーディションと比べると、全員の演奏が大きく変わっていきます。劇

場にとっては予算の問題もあると思いますが、本番ごとに大きく成長する彼らのために、できるだけプロ奏者である講師とのアンサンブルの機会をもっと増やしていきたい。また音楽家はお客様によって育てられる存在でもあります。ぜひアカデミー生の成長をコンサートで実感していただき、応援を続けてもらいたいと思います」（福川）

文・飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

### GEIGEKI Orchestra Academy for Wind 第9期生募集

2022年9月から活動に加わる第9期生の募集。オーディション内容の詳細は、2022年4月中旬劇場ホームページにて発表。



<https://www.geigeki.jp/performance/goa/>



第8回演奏会：室内楽演奏会より アカデミー生と講師による演奏（2022年2月10日）



第8回演奏会：卒団生によるショーケースVol.1より清川さんの企画「トランペット・オードブル」（2022年2月8日）



レッスンの様子（木管セクション オーケストラ・スタディ）